



お互いを大切にし、がっちりスクラムを組んで前に進んでいこう!

~新しい仲間が6名増え、220名の仲間でも新たなスタート~

保護者の皆さま、生徒の皆さん、第3学年への進級おめでとうございます。

どの生徒も、新たな決意に燃え、新学年がスタートしました。今年度は、最上級生となり、生徒会活動・部活動などでも中心として、心身共に鍛えていける最も充実した学校生活の送れる年になると期待しています。昨年度以上に保護者の皆さまの御協力をいただき、子ども達がしっかり成長していくことを期待しています。3年職員全員で、生徒のためベストを尽くして頑張っていきますのでよろしくをお願いします。

昨年度主任の松元智子先生より~3年生へ~

3年生としての自覚を持って生活してほしい。
目標を決め、その実現に向け努力してほしい。
来年の3月全員が笑って春を迎えてほしい。



3年部職員

- 1組担任 脇 正博 (社)
- 2組担任 川畑 勇司 (数)
- 3組担任 山口 幸作 (理)
- 4組担任 宮之脇 圭 (英)
- 5組担任 吉 美津代 (数)
- 6組担任 永田 龍一 (英)
- 3・4組副担 寺地 郁美 (音)
- 5・6組副担 遠藤 百子 (体)
- 副主任 竹下 直大 (国)
- 主任 脇田 武志 (技)

新たな 決意を秘めし 始業式

学年代表 植之原さん 始業式にて

「素直な心」これは、私が所属する女子ソフトテニス部の目標です。大切なことは、試合結果や練習内容ではなく、チームやお互いを信じる素直な心だと教えてもらいました。そのように大切な部活動へ恩返りするつもりで、最高の形で部活動を締めくくりたいと思います。部活動だけではありません。体育大会や文化祭などさまざまな行事や中学校生活も今年度で最後になります。だからこそ、毎日の学校生活に悔いを残したくありません。私は、部活動で学んだ「素直な心」をモットーに何事にも全力で取り組み、中学生として有終の美を飾りたいと思います。

また、3年生は自分の進路を決定し実現していく大切な学年でもあります。私自身の昨年までの反省として、人よりも学習時間が少なかったことがあげられます。このことは「学びの約束1・2・3」を振り返っているときにはっきりと実感しました。学年プラス1時間がなかなか達成できないことや、友人の学習時間に焦りを感じることもありました。受験生となった今年度は、もっと積極的に学習に取り組む姿勢が必要だと思っています。昨年、最後の学年集会で松元智子先生が「来年の春を笑って迎えられるように」と言われた言葉が、いまだに忘れられません。自分の将来のことをしっかりと意識しながら、進路決定に向けて「まだ時間がある。」という甘えを捨てて、努力を重ねて生きたいと思っています。伊敷中学校での最後の一年をどのように過ごすかは、自分自身の心の持ち方や、日々の努力のあり方で大きく異なってくると思います。伊敷中学校の最上級生としての自覚と誇りを持ち、悔いを残さないように、明るく、楽しく前向きに、そして常に「素直な心」を忘れずにがんばりたいと思います。



学年通信「スクラム」発行にあたって

昨年度の学年通信「飛躍」に続いて、今年度は通信「スクラム」で、子どもさんの学校での様子やお知らせなどを紹介していきたいと思っています。

先日のPTA送別会で鹿児島大学の丸山先生が本校の教育をアメリカンフットボールにたとえて話をされました。選手にあたる生徒、コーチや監督の教師、サポーターの保護者や地域の方が一体となって教育効果をあげているという内容でした。これからもがっちり「スクラム」を組んで子ども達がさらに伸びることを願って・・・

輝くためには自分で火を燃やさなくてはならない。 石田衣良 / 作家
(トップランナー格言集より)